



第 82 号

東稲ニュース

早稲田大学校友会東久留米稲門会

平成 27 年 5 月 10 日発行
発行責任者 安次峰暁
編集責任者 別処尚志
E-mail:satoru_ajimine@hotmail.co.jp
http://homepage2.nifty.com/35292/

会の告知板

【部会予定】

5 月 11 日(月)	ゴルフ部会 「稲門例会」	
5 月 14 日(木)～15 日(金)	旅行同好会 「常磐道とスパリゾート・ハワイアンズ」	06:45 東久留米市役所
5 月 17 日(日)	第 178 回 俳句部会句会	13:00 生涯学習センター
5 月 26 日(火)	ウォーキング部会 「門前仲町、両国方面」	08:55 東久留米駅
5 月 28 日(木)	映画鑑賞会 「荒野の決闘」	14:00 成美教育文化会館
5 月 30 日(土)	野球早慶戦観戦会	10:20 東久留米駅
6 月 5 日(金)	東久留米三田会・稲門会ゴルフ会	熊谷ゴルフクラブ
6 月 6 日(土)	第 15 回オール早稲田囲碁祭	09:30 市谷日本棋院
6 月 7 日(日)	第 1 回役員会 (終了後 18:00～新旧役員懇親会)	16:00 生涯学習センター
6 月 21 日(日)	第 179 回 俳句部会句会	13:00 生涯学習センター
7 月 19 日(日)	第 180 回 俳句部会句会	13:00 場所未定

【大学・校友関係】

6 月 14 日(日) 西東京稲門会総会 (出席者未定)

[会の報告]

◎第 21 回(平成27年度)定時総会報告

<第 1 部>定時総会

平成 27 年 4 月 26 日(日) 午後 2 時より成美教育文化会館で開催された。総会・懇親会を併せて会員 58 名が参加した。第一部は、渡辺副会長の司会で定時総会を開催、安次峰会長より来賓紹介と挨拶、来賓を代表して並木東久留米市長より東久留米市の情勢、早稲



早稲田大学 河口俊二 地域担当副部長

田大学河口地域担当副部長より、鎌田総長の再選他、記念会堂の改築等大学の近況について

挨拶を含めた祝辞があった。安次峰会長を議長に選出し、平成 26 年度事業報告、平成 26 年収支決算報告、平成 26 年度収支決算監査結果報告の承認後、平成 27 年事業報告、平成 27 年収支計画、平成 27 年度役員改選案が提示されいづれも承認された。

高橋哲男記



2015/04/26 14:42
並木克己 東久留米市長

第21回定時総会 会長挨拶

こんにちは、今日は統一地方選挙と重なりまして、皆様には大変お忙しいところを、東久留米稲門会第21回定時総会に御出席下さいまして誠に有難うございます。また、並木克己市長様も大変ご多忙にもかかわらず昨年ひきつづいてご出席頂いております。それから、大学からも河口俊二地域担当副部長様がここ数年毎年いらっしゃって下さり、大変心強く有り難い思いです。そして、近隣の稲門会からもご出席頂きまして本当に有難うございます。

昨年、東久留米稲門会は設立20周年の節目ということで、一年余りかけて、それぞれの「部会の活動」、会員によるいろいろな芸術の「作品展」、「早稲田大学ニューオーリンズクラブ」、並びに「大門中ブラスバンド部」の生徒の皆さんによる「コンサート」、そして「二十周年記念誌」の発行と、多岐にわたる記念の行事を行いました。

皆様がたの温かいご支援と並々ならぬご協力のお陰で、滞りなく成功裡のうちに終わることができました。心より厚く感謝申し上げます。

会員については昨年4名の方がお亡くなりになっております。今回の総会案内配付のポストマンにより新入会3名、再入会2名の方がいらっしゃいますので、今のところ1名増える勘定になります。

大学のほうでは昨年、中野に大規模な「国際学生寮」が完成し運営されております。ご覧になる機会もあるかと思えます。又、学生時代体育の授業でもなじみの深かった「記念会堂」が今年取り壊され、改築工事が始まるそうであります。大変様変わりするものと思われまます。

今回の総会はこれまでと次第を変えて、定時総会を一番目に、二番目に講演会、三番目に懇親会という順序に致しました。初めての試みではありますが何卒ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが皆様がたのますますのご健勝をお祈り申し上げまして挨拶とさせていただきます。有難うございました。



安次峰暁 東久留米稲門会会長

<第2部>文化講演会

中村親方（元関脇琴錦）の「相撲道に学ぶ」を聴いて

今回の講演は某氏の言葉を借りれば「ヒット」かも。開始前から親子連れが集まり、親方にサインを貰おうと列が出来て、会場はほぼ満席でした。新聞、雑誌などでその人の生い立ち、履歴、人物評など



中村英行親方（元関脇琴錦）

を読むよりも、本人の口から「生の言葉」で聞く話は、臨場感、説得力があり、良いものですね。ほお、成程と思った中村親方（元関脇琴錦）の言葉を少し記して報告とします。

*稽古は辛く大変だが、やられれば、やられる程、「やる気」が出てきた。若い時は兄弟子の衣類の洗濯、チャンコ番等忙しいが、それにより無駄な金を使わずに過ごすことが出来た。

*「親孝行したい」という気持ちが常にあったので、現役を永く続けることが出来、また親方になってからもその気持ちは続いている。

*目標を持ち続けること、目標を諦めないこと。その結果、いつまでも健康でいることが出来た。

別処尚志記



<第3部>懇親会

やっぱり大きい!

中村親方を囲んで談笑の輪が

中村親方の講演の熱気の冷める間もなく、村上幹事の司会で懇親会が始まる。役員最年少ということもあって、さすがに歯切れがよい。

まずご来賓の紹介と祝辞、安次峰会長の挨拶の後、恒例の安宅初代会長の音頭で乾杯。しばし歓談の後、新入会員の名が読み上げられ、その方々が前に出て自己紹介。

あちらこちらで談笑の輪が広がって行く。新旧会員の間でもさしつさされつ友情を固める。フィナーレはお定まりの慶応「若き血」と早稲田大学校歌「都の西北」の斉唱とエール交換。この会に残って下さった中村親方を激励。早稲田の校友らしい和やかで清々しい会であった。

河村洋子記



締めは恒例の、大島さんのハーモニカ、大矢さんのリードで校歌斉唱

<出席者> (敬称略)

【来賓】東久留米市：並木克巳(市長)、早稲田大学：河口俊二(地域担当副部長、総務部調査役)、東久留米三田会：佐藤柳次郎(特別顧問)、大野貴志夫(新会長)、野崎陽一(前会長)、清瀬稲門会：宮坂明男(会長)、神山和夫(副会長)、小平稲門会：国友泰邦(副会長)、栗原政博(副会長)、西東京稲門会：竹島亜機雄(会長)、松尾良久(副会長)、東村山稲門会：大内一男(副会長兼事務局長)、山本岩男(副会長兼事務局次長)、高橋正夫(幹事)、滝来京子(幹事)

【会員】安次峰暁、安宅武一、阿部栄光、鮎貝盛和、安藤信雄、井坂 宏、石寺美弥子、伊東 毅、上原徹也、上田敦嗣、栄田卓弘、大島勝典、大矢真弘、岡野幸子、小野泰右、小山田朋樹、梶井琢太、片平るみ、金子孝司、川上昇一、河村洋子、神田尚計、吉川明美、久家政裕、呉 淳久、國米家巳三、後藤秀作、小牧完次、酒井正敬、佐藤雄二、清水正弘、杉本達夫、高橋哲男、高柳康夫、橘 優治、辰巳徳蔵、塚越 崇、東海俊孝、長束輝夫、西村より子、馬場清彦、比護喜一郎、菱山房子、平山正徑、福田 稔、船津高志、別処尚志、帆角信美、松崎 博、三浦洋子、村上万里、武藤 豊、村野建彦、山岡恭子、山崎敬雄、山口謙二、米光慶二郎、渡辺真司、

平成 26 年度決算／平成 27 年度予算（概要）

平成 26 年度収支決算及び平成 27 年度収支計画が下記の通り総会において承認されました。

平成 26 年度 東久留米稲門会収支決算書

平成 27 年度 東久留米稲門会収支計画(補正後)

項目		予 算	決 算
収 入	年会費	480,000	477,000
	組織強化補助金	248,000	250,000
	20周年懇親会費	0	252,000
	その他収入	0	11,964
	(収入計)	(728,000)	(990,964)
	前期繰越金	813,884	813,884
	20周年事業費前払金戻し	85,900	85,900
合計	1,627,784	1,890,748	
支 出	総会費	80,000	95,370
	通信費	30,000	29,926
	印刷費	70,000	113,752
	消耗品費	30,000	30,168
	近隣稲門会等交流費	70,000	39,000
	交通費	20,000	14,000
	部会補助金	100,000	90,000
	イベント補助金	60,000	51,763
	寄付金	80,000	67,500
	20周年記念事業費	735,900	716,946
	雑費	40,000	21,920
	予備費	50,000	53,050
	(支出計)	(1,365,900)	(1,323,395)
	繰越金	261,884	567,353
合計	1,627,784	1,890,748	
収入－支出	0	0	

項目		予 算
収 入	年会費	480,000
	組織強化補助金	250,000
	雑収入	10,000
		0
(収入計)	(740,000)	
前期繰越金	567,353	
合計	1,307,353	
支 出	総会費	100,000
	通信費	30,000
	印刷費	70,000
	消耗品費	20,000
	近隣稲門会等交流費	100,000
	交通費	40,000
	部会補助金	90,000
	イベント補助金	80,000
	寄付金	80,000
	20周年記念事業費	0
	雑費	40,000
	予備費	450,000
	(支出計)	(1,100,000)
	繰越金	207,353
合計	1,307,353	

※予備費はホームページ再構築費用として増額計上

20周年記念事業収支内訳

項目		予 算	決 算
収 入	懇親会費ほか	—	252,000
支 出	記念誌製作費	380,000	277,268
	コンサート	150,000	149,736
	懇親会	100,000	239,233
	作品展・予備費	105,900	50,709
	支出計	735,900	716,946
収入－支出	△735,900	△464,946	

(監査報告)

東久留米稲門会規約第 7 条の規定に基づき、平成 26 年度の決算書類について監査の結果、適正なることを認めます。

平成 27 年 4 月 11 日

東久留米稲門会

会計監事 東海俊孝 ㊞

会計監事 吉川明美 ㊞

<稲門祭記念品購入のお願い>

今年も稲門祭記念品の購入依頼の時期が参りました。収益が全額「校友会奨学金」となり、在校生へのOBからの支援となります。すでに定時総会の席上、出席の皆様には稲門祭実行委員の担当幹事より購入依頼をいたしました。欠席だった会員の皆様、総会当日は購入検討できなかった方、同封のパンフレットをご覧ください、是非、後輩のために記念品の購入をお願いいたします。

お申し込み先 (担当幹事) : 清水正弘…080-5182-6012 村野建彦…090-4003-0273

◎役員会報告 平成 27 年度臨時役員会が 4 月 5 日(日)16 : 00~生涯学習センターにて開催された。

<議事録概要>

1. 第 21 回定時総会について : (1)定時総会、(2)文化講演会、(3)懇親会、(4) 定時総会資料印刷袋詰め等につき打ち合わせ。役割分担確認。
2. 組織強化補助金 : 本年度も申請。
3. 幹事長・事務局長会議及び代議員会の報告 : 記念会堂が今年 8 月より改築工事、ホームカミングデーの会場は大隈記念講堂他で実施。
4. その他 平成 27 年度第 1 回役員会 : 6 月 7 日(日) 16:00~ 18:00~新旧役員懇親会
6 月 7 日(日)西東京市稲門祭総会 : 河村副会長出席、本年度「秋の旨いもの会」 : 10 月 12 日(月)、
来年度定期総会 : 平成 28 年 4 月 17 日(日)

【部会報告】

<女性サークル>

桜の開花宣言が出た 3 月 23 日(月)、女性サークルの平成 26 年度最後の活動として、昼食会が鮮乃庄東久留米店で行われました。出席者は 10 名で、今年も新しい方が 1 名おり、女性サークルにとって嬉しいことでした。

はじめに平成 26 年度会計報告及び事業報告が行われ、来年度の部会長は河村さんが引き受けてくれることになりました。その後は歓談しながら美味しい食事をいただきました。食事が終わった頃、用事を

妙齢のワセ美女が集まって・・・



終わらせて駆けつけてくれた方が 1 名加わりました。そして来年度の部会長より女性サークルの活動として読書会や小旅行などが提案され、皆で話し合いました。予定時間となり散会となりましたが、帰りがけにお店からなぜかランの花を 1 本ずついただき、楽しかった昼食会のよい締めくくりとなりました。

吉川明美記

<ウォーキング部会> 第48回ウォーキング部会報告 3月25日(水) 実施

場所：レインボーブリッジ、お台場 参加者：15名

行程：新橋「ゆりかもめ」→ 芝浦埠頭駅 → レインボーブリッジを2km歩く → お台場公園

(昼食休憩) → 自由の女神 → お台場海浜公園 → 船の科学館(本館は改修中、別館見学と係留されている宗谷乗船) → 日本科学未来館(1時間程度自由見学) → ヴィーナスフォートで解散



快晴の下、渡ってきたレインボーブリッジを背景に

希望者で「打ち上げ」(テントにて貝類の炭火焼き)

春分の日を過ぎ、暑からず寒からず絶好のウォーキング日和。最初は普段は乗ることのないモノレール「ゆりかもめ」車上から竹芝栈橋を見やる海の見晴しを楽しむことから始まった。芝浦埠頭駅を降りてしばらく歩き、レインボーブリッジの遊歩道出入口からエレベーターでかなりの高さの展望遊歩道に出る。そこから、東京湾の兩岸の大きな建造物、悠々と走る船を見下ろす眺望を楽しみながら2kmを歩いて渡った。橋から見た眺めは、海というより大きな川のように、かつて瀬戸内海を見た中国人が「狭いというが日本にも大河があるではないか」と言ったという小話を思い出した。

更に歩を進めて、江戸時代末期幕府が黒船来航に対処すべく作った6基の台場の内の一つ、現在は史跡公園として整備されている第三台場に至る。この場所は又、今歩いて来たレインボーブリッジの雄姿を間近に見上げる絶景スポットであり、全員で記念写真を撮った。陽春の陽気の中で、これから歩くお台場海浜公園に沿った入江の穏やかな景色を見ながら、三々五々となって昼食に舌鼓を打つ。こういう場所での食事のおいしさは格別でした。

入江に沿って、伊豆諸島から運んだ砂で作ったL字型に延びる白砂の海岸を散策し、水辺に群れるゆりかもめに、『名にし負はばいざこと問はむ都鳥わが思ふ人はありやなしやと』の伊勢物語を思い出した。尤も、後日書物に当たると、現在都鳥と分類されている鳥は、平安時代に都鳥とされていたゆりかもめとは異なる種類であるというので、時代の変化に何となく興ざめ。途中、小型の自由の女神像に出会ったが、正真正銘フランスからのものであることを語る来歴の掲示板に一同頷いていた。他に、散策では花見を期待していたが、2~3日目の冷え込みで桜の開花が遅れてしまい、期待外れだったのが残念である。

海と船の文化がテーマの船の科学館は、本館が改装中ではあったが、係留されているかつての南極観測船「宗谷」に乗船できた。こんなに小さな船でよくもまあ南氷洋を航海したなというのが皆の正直な印象であったが、船内の見学では興味深いものが沢山得られた。

最後に訪れた先端科学情報を発信している日本科学未来館では、約1時間の自由行動とした。春休み

中のこととて小中学生が多い一方、我々世代としては、通常は先ず訪れることがない施設で、宇宙ロケットを始め電子機器を使用する最先端分野に触れたことは普段の生活とは異なる貴重な経験であった。解散後、希望者が残りビーナスフォートの中庭のテントで、貝類の炭火焼きで乾杯して打ち上げとした。

東海俊孝記

< 散策・山歩き部会 > 3月29日(日) 国立市「矢川」

数日前から、天気予報ではその日は雨となっていた。ところが当日の朝は快晴、上々のハイキング日和、そして桜は満開。ただ、天気は午後から崩れるとの放送だった。参加者9名(男性7名、女性2名)で「東久留米駅」9時23分発、「西国分寺」経由「立川」で南部線に乗り換え「国立駅」で下車。

東久留米の落合川や黒目川より小さめの、春の小川『矢川』沿いに国立市を半周するように北上し、新築になったばかりの「国立駅」まで「谷保天満宮」での昼食をはさんでの約4時間半。満開に近い桜並木の中も含めて1万6千歩余を踏破。雨にもあわず幸せな気分でした。その後、有志6名で所沢の居酒屋「百味」に於いて、観てきた桜を想い出しながら“花見の一杯”を味わった。 安次峰暁記



満開の桜並木にて

< 太極拳の集い >

4月4日(土) 恒例のお花見を兼ねた「野外稽古」を狭山稲荷山公園で行うことにしていましたが、前日の天気予報で、当日は曇り空ながら雨の心配はないものの、北からの寒気の影響で気温が10℃前後と言うことが判りました。高齢者が多いことでもあり、万一、風邪でも引いてはと思い、前夜、急遽屋内稽古に切り替え、渡辺・小山田・鮎貝の3名で手分けをして電話連絡しました。

当日は午前中の稽古には16名が参加し、通常の稽古を行いました。午後からの懇親会には安次峰会長、東海会計監事をお迎えして、成美教育文化会館の3階からの桜を眺めながら、京樽の弁当、お酒、手作りの惣菜などなどを口

にし、思い思いのおしゃべりの時間を楽しみました。

お花見にはピッタリのタイミングでしたが、生憎の寒空、屋内稽古となりましたが、それなりに楽しい一日を過ごすことができました。(残念ながら、午前中の稽古の様子を撮影するのを忘れていました)

鮎貝盛和記



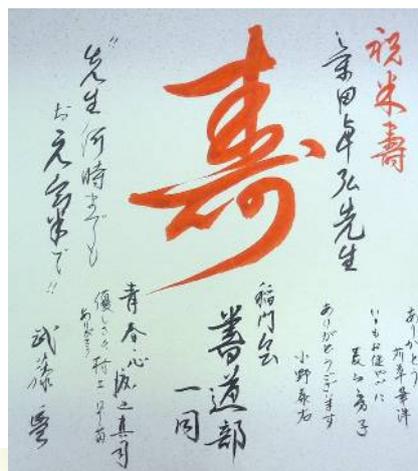
太極拳野外稽古 成美教育文化会館3Fテラスにて

<書道部会> 「栄田卓弘先生の米寿を祝う」 4月12日 生涯学習センター

88歳を迎えられた栄田卓弘先生、かねてより武藤部会長が栄田先生に、書道部会として米寿のお祝いの会をもちたいとお伝えするも、栄田先生はずっと遠慮されてきました。そこで4月12日に例会に出席されることを確認し、ハプニング!! 武藤部会長によって『祝 米寿』のどでかいお祝いの言葉の色紙、会員皆のお祝いの寄せ書きをもってお迎えしました。

栄田先生のキョトンとしたお顔、自然に湧き起こる“ハッピーバースデー”の歌声・大きな拍手、サプライズでした。昭和2年2月2日生まれという忘れられない誕生日。2か月遅れのお誕生会でした。

東京・文京に生まれ、家業の関係より、商業学校に入れられいやいや勉強、その後早稲田第一高等学院から早稲田大学へと・・・若いころのお話も沢山。小さな体に豪快な筆勢、武藤部会長は「私は努力派、栄田先生は天才肌です」と言っておられました。会員一人一人よりお祝いの言葉をのべていくとともに楽しそうな栄田先生のお顔。嬉しい、楽しい1日でした。



栄田先生ご夫妻を囲んで

渡辺真司記

<俳句部会>

3月15(日) 第176回句会 於:生涯学習センター
兼題:「朧月」、「つばめ」、

春愁人を避けつつ人を恋ふ	棚野愛子
おぼろ月舟は舟屋の影の中	杉本達夫
咲くものに伸びゆくものに朧月	片平るみ
黒髪をゆたかにほつき卒業す	片平るみ
燕来る都心の古き修道院	河村洋子
つばめ来るビルの谷間を縫ふやうに	比護喜一郎
ほっこりと掌に載りそうな朧月	三田畔棠
妻病めば花の便りを遠く聞く	馬場清彦
ひと駅をゆっくり歩いて朧月	神田尚計
天平の蕙しつとり月おぼろ	河村洋子

4月19(日) 第177句会 於:成美教育文化会館
兼題:「こでまり」「晩春」

こでまりや良寛さまの童唄	川俣栄一
こでまりや清貧にして子沢山	河村洋子
焼印のある王子焼花の宴	棚野愛子
子手鞠のまろくまろくと枝垂れけり	片平るみ
晩春の宙をゆつたり観覧車	三田畔棠
野ねずみの顔出す穴や花の雨	棚野愛子
武蔵野の鎮守賑わす苗木市	松田博雄
晩春をのせてSL秩父行く	河村洋子
こでまりや仲良し児童の帰り道	比護喜一郎
アサリ掘る太平洋の股のぞき	松田博雄
夕さればこでまり灰と浮びけり	神田尚計

三点句以上 橘優治記

特別寄稿

東久留米で環境保全活動 15 年 ～稲門の先達に導かれて～ (2)

佐藤 雄二 (37年 理工)

■湧水・雨水(続き)

水循環基本法、雨水利用推進法が国会で超党派で成立して平成 26 年 4 月 2 日に公布され、それぞれ 5 月、7 月から施行されました。雨水を大事に活用する時代が本格的に始まります。10 年以上前から実施されている安宅武一さんのもっとも基本的な方法 (右の写真) は大変参考になります。みんなで見習いましょう。



安宅家の雨水貯留システム

■地下水・清流

湧水・清流がいつまでも続くことを多くの市民が願っていますが、そのためには元となる地下水の各地域・時期による水位変動を把握して、場合によって何らかの対策を考えることが必要です。平成 15 年夏頃、市環境部の課長と雑談の折、その話をしたところ、年度末に予算を工面して測定道具 (先端が水面に接すると手で赤ランプが点灯しブザーが鳴る巻尺) を 7 セット購入してくれました。課長の交代があったものの、引き継がれ、市が指定している防災井戸所有者の了承を得、他の環境グループの協力も得られることとなり、平成 16 年(2004)11 月から毎月 1 回ずつ市内 25 か所の井戸の水位を測る体制ができました。そののち現在に至るまでずっと継続して測定を実施しています。

また、清流と周辺の景観を楽しむため、「黒目川ウォーキング」を 4 回行いました。源流から新河岸川への合流点近くまで川沿いに東久留米市内 (平成 17 年 9 月)、新座市内 (11 月)、朝霞市内 (平成 18 年 3 月) を歩くほか、東久留米市内の黒目川沿いから北上して野火止用水沿いに移り新座市内の平林寺まで歩く (5 月)、というコースを楽しむもので、途中の文化財、生き物、野鳥などを各地区の人、グループの協力を得て楽しみました。

■国木田独歩の「武蔵野」と東久留米の雑木林、屋敷林

明治中期の作家、国木田独歩 (1871～1908、東京専門学校 (早大の前身) 中退) が名作「武蔵野」で「昔の武蔵野は萱原のはてなき光景を以て絶類の美を・・・言い伝えてあるが、今の武蔵野は林である。・・・木は主に檜の類で冬はことごとく落葉し、春は滴るばかりの新緑もえ出ずるその変化が・・・野一斉に行われて、春夏秋冬を通じ・・・様々の光景を呈する・・・」と讃え、「・・・この範囲の間に所沢、田無などという駅がどんなに趣味が多いか・・・」と述べています。東久留米はまさにそのあたりにあります。

柳窪「天神前」4 代目村野七次郎氏 (幼名七之助、3 代目が早くなくなったため早稲田大学法科を中退して襲名) は三多摩村議会議長会長など地方政界で活躍されましたが (稲門会機関誌「杜の西北」第 15 号 (平成 21 年 3 月))、文学青年でもあり、「武蔵野」の一節をよく口ずさんで、長男啓一郎少年を連れて自転車で近隣の雑木林を巡ることが多かったとのことでした (故啓一郎氏の思い出)。

現在でも東久留米は、東京都指定の保全樹林が 8 か所もあり豊富な雑木林に恵まれています。東京都全体でそれらを結んで設定された「雑木林の散歩道」全 10 コースのうち 3 コースが東久留米市にあ



樹木ウォッチング

ります。この豊富な林と樹木を認識して楽しむ企画として下記の5回の市民講座「樹木ウォッチング」を企画、実施しました。市内（一部清瀬）にある保全樹林の近くで1時間程度の樹木に対する基礎知識の学習をした後、保全樹林に入って実地観察を行う、という企画です。

入門編：平成16年5・6・9・10・11月に南沢、氷川台・小山、柳窪、さいかち窪、野火止用水沿い雑木林、南町・前沢の各雑木林

基礎編：平成17年6・9・11月に南沢、南町・前沢、氷川台・金山の各雑木林

初級編：平成18年9・10・11月に南沢、柳窪、氷川台・小山の各雑木林

花と緑の樹木ウォッチング：平成19年4・5月に清瀬松山緑地等、南沢の各雑木林

初級編2：平成19年9・10・11月に氷川台・小山柳窪、南沢の各雑木林

いずれも人気が高く、中央公民館での電話受付が1日で定員一杯になるという人気ぶりでした。延べ16回、保全樹林等に入って楽しんだこととなります。 (続く)

部会だより

<ウォーキング部会> 5月26日(火)

第49回ウォーキング部会

「門前仲町から両国を散策」

(歴代名力士、芭蕉の足跡、その他)

日時：5月26日(火) 集合：9:00 a.m.

東久留米駅改札口 *雨天の場合延期(代替日は別途設定) 事前申込不要

行程：7km程度(全行程参加がきつい方は、途中の地下鉄で帰宅が可)

練馬から都営大江戸線に乗り門前仲町駅 → 深川不動堂**豆大福、キンツバ、甘味菓子の店多し → 富岡八幡宮(歴代名力士の碑、手形、伊能忠敬像) → 途中コンビニで昼食購入 → 採茶庵跡の碑



(奥の細道の出発地) → 清澄公園・清澄庭園 (65 歳以上 70 円 ★ここで昼食) → (尾車部屋を過ぎて) 芭蕉庵史跡展望公園 → 両国公園 (勝海舟生誕碑) → 両国小・芥川龍之介の文学碑 → 吉良邸跡 → 回向院 → 相撲博物館 (無料) → 旧安田庭園 (無料) ★ここで解散

☆ 江戸東京博物館 (65 歳以上 300 円) は希望があれば、最後に付加

☆☆ 帰路：地下鉄大江戸線両国駅 又は JR 両国駅が可能です。

☆☆☆希望者は両国駅周辺で「打ち上げ」を予定

費用：参加費 300 円、 交通費・飲食代は自己負担、他に清澄庭園 (70 円)

連絡先：東海(とうかい)俊孝 TEL: 042-473-8566 メール: toshi-tokai@kvj.biglobe.ne.jp

<映画鑑賞会>

『真昼の決闘』 5月28日(木) 午後2:00～ 於:成美教育文化会館

この作品は1952年のアメリカの西部劇です。

当会員の名物男 野球の故太田さんが是非取り上げてほしいということで、遅ればせながら追悼の意味を込めて踏切りました。

この作品はフレッド・ジンネマン監督が驚くべき低予算で、たった28日で撮った作品。それが奇跡的な傑作になったのだからすごい。保安官ウィル(ゲイリー・クーパー)、復讐にやってくる無法者と孤立無援で対決せざるを得なくなる。その恐怖、孤独、不安が刻々と迫る対決の瞬間に向けてリアリスティックに描かれる。正午、街の通りに一人立つクーパー、すでに50歳になる長身の姿、それを俯瞰でとらえるカメラ。その時カメラはクーパーを愛した。若くないからこそその美しさを映し出した。そのほか、見どころいっぱい。グレース・ケリーのデビュー作である。

D・ディオムキン、F・レインのコンビによる主題曲「ハイヌーン」も大ヒットした。 上映時間84分

米光慶二郎記



<野球早慶戦観戦部会> 5月30日(土) 第1戦

春の早慶戦観戦部会、今回は第1戦を観戦応援に行きましょう！

現在、優勝候補です。

集合：5月30日(土) 10:20 東久留米駅改札口集合

参加希望者は、高橋事務局長まで連絡を TEL042-474-2366 (詳細は同封のチラシ参照)



東稲広報室

<当会会員 栄田卓弘先生の新刊著書紹介>

書道部会の報告に88歳の米寿のお祝いをしたと紹介されている、当会会員栄田卓弘早大名誉教授が、新刊著書を刊行されましたのでご紹介いたします。

『浮田和民物語』—自由主義者の軌跡—

(日本評論社 A5判 416頁 本体価格3,700円)

浮田和民(1860—1946 思想家・政治学者、早大教授、雑誌「太陽」主幹)



<年会費納入のお願い>

平成27年度年会費の納入期限は5月末迄です。未納入の会員の方は、よろしくお願いたします。

<名簿非開示希望について>

平成27年度会員名簿を作成いたします。会員名簿は「会員相互の親睦」を目的として発行し、会員に限り配付いたします。そのため第三者への譲渡や貸与、他目的利用は会員のプライバシー権侵害になるおそれがありますので、厳に慎んでください。尚、氏名、郵便番号、住所、電話番号、卒年・学部を記載しますが、開示を希望しない会員は、事務局までご連絡をお願いします。



<平成27年度ポストマン区割>

本年度会員用ポストマン区割表を以下のように連絡いたします。今般ポストマンを退任された福田さんに、これまでポストマンを通じて稲門会活動に多大な尽力をいただいたことに対して厚くお礼を申し上げます。また今後ともご支援よろしく申し上げます。併せて継続・新規ポストマンの方についてもよろしく申し上げます。(事務局)

上の原1丁目、金山町1丁目、2丁目：**塚越**、神宝町1丁目、2丁目：**清水**、氷川台2丁目：**渡辺**、大門町1丁目、2丁目、新川町1丁目、東本町5丁目：**小野**、浅間町1丁目、2丁目、3丁目：**山口**、浅間町3丁目：**吉田**、学園町1丁目、ひばりが丘：**別処**、南沢1丁目：**吉川**、南沢2丁目、3丁目、4丁目：**長束**、南沢5丁目：**片平**、南町1丁目、3丁目、4丁目、滝山2丁目：**後藤**、前沢1丁目、2丁目、3丁目：**河村**、前沢4丁目、5丁目：**村野**、滝山3丁目、弥生1丁目：**藍原**、滝山4丁目、5丁目：**宮井**、滝山6丁目：**西村**、野火止2丁目、3丁目、下里1丁目、7丁目：**伊東**、下里2丁目、柳窪1丁目、滝山7丁目：**船津**、幸町1丁目、3丁目、5丁目、八幡町1丁目：**東海**、八幡町2丁目、3丁目、中央町4丁目：**小山田**、小山1丁目、2丁目、3丁目、5丁目：**村上**、本町1丁目、2丁目、3丁目：**小牧**、本町4丁目：**鈴木**、中央町1丁目、2丁目、5丁目、6丁目：**高橋**
(敬称略)

(会員リレーエッセイ) ～噴水広場～

ISO って何？ — 安全・安心な暮らしのための ISO MS 規格の認証制度 — 第1回

東海 俊孝 (44年 政経)

注：この稿は、JAB と「消費と生活」から、引用の了解を得て作成しています。

1993年11月、日本に ISO Management System マネジメントシステム (MS) 規格の認定・認証制度が民間の制度として創設されました。今回機会を与えて戴きましたので、この制度に長年携わってきた立場から、ISO MS 規格の認定・認証について、一般市民・通常消費者と言われる人々 (以下、「消費者」という) にとって、身近なものであり、且つ非常に有益で必要なものである、というご紹介をさせて戴きます。

1) ISO MS 規格と私達

品質 ISO (ISO 9001 規格) とか環境 ISO (ISO 14001 規格)、という言葉はどこかで耳にしたことがありませんでしょうか。企業等 (行政機関、非営利団体等を含む、以下「企業」という) でこれらの仕事に携わっている人は別として、多くの消費者は、自分とは無関係で、知りたいとも思っていない方が多いと思われます。しかしながら、ISO MS 規格を使った企業の仕組みは、消費者の安全・安心な暮らしのために用意されたものであることを、先ず知り置き願います。

私達消費者が、日常生活で買い物、外食、サービスの提供の購入 (建設・工事、宅配便、タクシー、病院、他) 等を行う場合、価格は別にして、どのように行動しているでしょうか。

- (1) 買い物は、いつも信頼でき、安心して利用できるお店でしたい。
- (2) レストランなら、美味しく、応対が丁寧、衛生にもきちんと配慮しているところが良い。
- (3) 工事では、客の要求を理解し、仕事が丁寧で、親切な対応をする工務店を使いたい。
- (4) 環境に配慮のある企業なら、信頼できるし、応援したくなる。

このように、私たちは日々の暮らしの中で、信頼できる品質、より良いサービス、環境へのやさしさを

意識したり、関心を持つ機会が、とても増えてきたように思います。一方、こうした社会の動きを感じ、製品やサービスを提供する多くの企業も、様々な場面で品質や環境への取り組みを PR するようになってきました。しかし、星の数ほどある製品やサービスの品質、環境に対する企業の取り組みを、いちいち調べ、本当にそうなのかを確かめることは、とても難しいことですし、手間も要します。また、一度手にした商品に満足しても、次も、その次も満足できるかどうかは分かりません。そんな時に、判断の拠り所になるものがあれば良いと思いませんか？

その役割を担う代表的なものが、国際標準（国際規格）の「ISO 9001」や「ISO 14001」です。ISO 9001 は品質、ISO 14001 は環境に対する企業の取り組みを判断する拠り所になるものです。この規格を使った仕組みのポイントは、企業の一つ一つの製品やサービスの良否を判定するのではなく、あるいは個々の環境規制値の遵守を調べる（例、騒音は OK だが、排水は NO など）ことではありません。その企業の製品やサービスの品質を日々管理し、また改善する仕組み（全体がマネジメントシステム MS である）が適正に機能しているかどうか、を確かめることにあります。また、環境への配慮を日々向上させる努力をし続けることができるかどうかについても同様です。この仕組み（MS）が備わっていれば、企業は社会のニーズや意識の変化を正確にとらえて対応することができます。万が一のことが起こっても、迅速で的確な対応でお客さまや、環境への影響を最小限に食い止めることができます。ところが、企業にきちんとした仕組みがあるかどうかを調べることは、簡単なことではありません。そこで、私達消費者に代わって確かめる制度が設立、運営されており、それが認定・認証制度（これについての説明は後述）です。

2) ISO、世界統一の基準で安全・安心を確保

ISO（イソ、アイソともいう）は、正式には、(International Organization for Standardization、国際標準化機構) といいます。これは国連などとは違い民間分野で設立された機関で、その役割は日常生活を便利で安全・安心なものとするための約束事（国際標準・国際規格）を定めることにあり、メンバーは世界中からの代表（一国一機関）で構成されています。民間分野の機関なので先進国では民間機関がメンバーですが、日本は経産省に設置されている工業標準調査会（JISC）がメンバーとなっています。

さて、世の中が国際社会と言われてもう相当の年月が経過しています。そうした中で、上述の約束事は、各国でバラバラに話合うのではなく、世界統一の方法にする方が、ずっと使いやすく、将来性が高いのは言うまでもありません。世界で統一された約束事を作って広く使ってもらえれば、貿易等において各国間で円滑なやりとりが可能になりますし、国内取引においても同様の効果を期待できます。世界統一の約束事、即ち国際標準・国際規格を作っている団体（機関）のひとつが ISO です。

3) MS 規格「ISO 9001」と「ISO 14001」とはどのようなものか

身の回りの身近な物についての ISO 規格の例として、ねじ（イソネジ）、フィルム感度、電池、ステイプラーの針やトイレットペーパーの芯のサイズなど、どれかを聞いたことがあるのではないのでしょうか。しかし、ISO 9001 や ISO 14001 という規格は、物の規格ではなく、企業としての仕事のやり方、ルールや手順、仕事をするのに必要な資源（人材、設備、他）やそれらを運営する体制、等の準備すべきものを定めている規格です。

仕事のやり方について約束事を作ることはどんな意味、目的があるのでしょうか。消費者は、快適に暮らすために、生活に係わる物の生産やサービスを提供している企業には、常にきちんと仕事をしてもらいたいと考えています。しかし、それを実現するためには、企業は様々な手順を作る必要があります、どのようにしたらいいのか考えなければなりません。この手順などを作る際に役立つのが ISO 9001 や ISO 14001 なのです。「企業がどのような仕組みや手順を持つべきか」の参考、基準としてもらうためなのです。そこには、現在だけではなく、将来に亘ってきちんと仕事をするということも含んでい

ます。これらの規格は、消費者に代わって企業に「トラブルが起きた時の対応方法」や「消費者ニーズの分析」、「責任の明確化」などを求めています。このように消費者の生活を守り、安心を与える目的で作られているのです。

ISO 9001には、消費者が求めている品質を備えた製品やサービスを常に届けるために、企業等が持つべき仕組みや手順の基本が書かれています。これをお手本に企業は手順書を作ったり、人員配置を考えたりします。基本項目には、①仕事をする時に必要な人や道具を準備し、誰が責任者なのかを先に決めておくこと、②仕事をする前にその仕事にはどんな能力が必要かを分析しておき、必要な訓練があれば実施しておくこと、③うまく仕事が進んでいるかを定期的にチェックして、ルール見直しの要否の検討をする、等が書かれています。

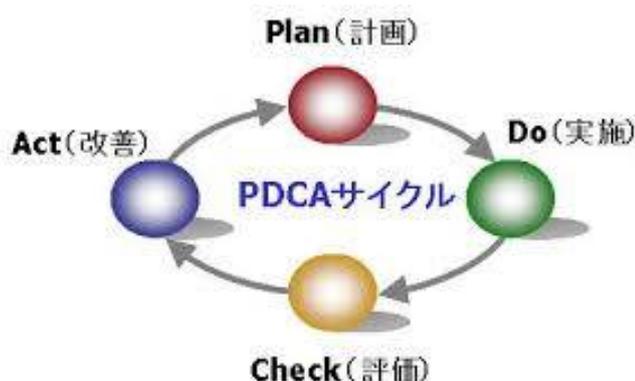
ISO 14001には、消費者にとって住みよい社会となるよう、企業が環境保全を考えた活動を行うために持つべき仕組みや手順の基本が書かれています。その内容は、①環境保全のために目指すことの宣言書「環境方針」を作ること、②環境に悪影響を与えそうな事態をできるだけ事前に想定し、その対策を考えておくこと、③環境保全に係わる法律が次々に施行されるので、それらを守っているかを定期的にチェックする、等が書かれています。

これらのお手本を基本に、各企業は、仕事の進め方を決め、製品・サービスを生み出していきます。きちんとした手順やルールをもとに生み出された製品・サービスは、消費者の安心感の醸成への寄与が期待されています。

4) マネジメントシステム(MS)とは何か、PDCA

上記3) で述べた、企業等の仕事のやり方、仕組みを、マネジメントシステム (MS) と言います。具体的には、企業が、設定した方針・目標を達成するために、企業活動を適切に指揮し、管理する仕組みのことで、下図のように、PDCAサイクルを回す形をとります。

- (1) P: どのような計画を立てるのか。(Plan = 計画)
- (2) D: どのような組織体制 (役割分担や指揮命令系統) で具体的に実行するのか。(Do = 実行)
- (3) C: どのような作業プロセスを評価・確認するのか。(Check = 評価・確認)
- (4) A: 見直しや改善はどのように行うのか。(Act = 見直し、改善)



PDCAサイクルが回っていることは、MSが機能していることを意味し、その結果企業の目的が有効に達成されます。更に、規格の意図する継続的改善の実行に繋がります。

<以下次号。次号では、認定・認証の制度とその効用に言及します>

<編集後記>

5月6日は立夏、24節気のひとつ。暦の上ですがもう夏です。季節感では風薫る5月、あおあおとした緑、さわやかな風、万物に精気が溢れ躍動する季節。第21回定時総会では6名の方々が新たに幹事に就任されました。より若々しい感性で、会の活動に薫風を吹きこまれんことを願うものです。